

産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所

● 呼吸器疾患・禁煙治療・視覚相談

診 察 日：月曜・木曜・金曜

受付時間：9:00~12:00

〒502-0017 岐阜市長良雄穂878-16

IP Tel:058-295-9545

FAX:058-296-3903

E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp

http://zazendoh.town-web.net/

第124号 2014.7.1.

毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介



五穀の産
粟は、ツバメが飛んできます。
粟を作るのたいのみな？
準備を運んできてください。

まつもと子ども留学基金 ニュースレター



まつもと子ども留学、
子どもたちが入寮、
そして学校へ！

まつもと子ども留学は、今

松井英介

まつもと子ども留学基金 ニュースレター 第2号 2014/6が届きました。

カラー写真つき、読みやすく楽しい記事満載の4ページです。その一部を以下に紹介します。

松本・四賀での生活が始まりました。

2014年3月、春休みに入り、福島から8人の子どもたちが松本・四賀の子ども寮へ引っ越ししてきました。住み慣れた家、大好きな家族、仲良しの友達とお別れして、新しい生活のスタートです。

短く書かれています。松本留学の実現は、先に松本に移り住んだお母さんお父さんと子どもたち、福島県内と全国各地でこれを支えた人たちのためめなみの努力の成果です。ここで忘れてはならないのが、松本市です。子どもたちを受け入れた地域の人びと、そして教育委員会をはじめ、市職員の方がたが、知恵と力を出し合ったのです。

菅谷昭松本市長が寮を訪問！

4月2日には、菅谷松本市長が、四賀地区を訪問され、

寮へも立ち寄ってくださり、地域の方にもご挨拶をされました。



そして、なんといっても松本市長の菅谷昭さん。甲状腺外科の専門医です。菅谷さんは、28年前に起こったチェルノブイリ原発事故の被害にあったベラルーシの子どもたちのために、何年も現地に足を運びました。そして、1996年には信州大学を辞め、5年半ベラルーシに住み、優しい手術方法を現地の外科医に伝え、子どもたちのために献身的な活動を続けてきました。

ニュースレターには、子どもたちが、5メートルもあるのり巻きを上手に作ったこと。畑作りを始めたこと。味噌造り。野草を探って、美味しい天ぷら・・・



レター第1号は、今年2月に発行され、次のサイトで読むことができます。菅谷昭松本市長の記者会見の一部始終も収録されています。英文で読むこともできます。

http://www.kodomoryugaku-matsumoto.net/?page_id=614

「まつもと子ども留学の日々」という名のブログも楽しいので、ぜひのぞいてみてください。

<http://mkrg.exblog.jp>



おいしい天ぷらができあがりました